

○ 平成24年度後期選抜の選考基準

1 総合的選考の観点

次の①～③を合わせた内容

- ①調査書における最も優れた2教科の評定
- ②学力検査における最も優れた2教科の得点
- ③生徒会、委員会、部活動または校外活動等への参加状況ならびに顕著で具体的な活動成果

2 総合的選考の方法

(1) 調査書と学力検査の活用割合 (調査書 : 学力検査 = 1 : 1)

調査書の記載事項(T) 50.0%	学力検査の結果(G) 50.0%
学習の記録(α) 30.0%	総合所見及び諸活動の記録(β) 20.0%

(2) 選考資料の扱い

ア 調査書の記載事項の扱いについて

(7) 学習の記録の中の評定の活用方法

α (110点満点) = (第2学年の必修9教科の評定の合計)
+ (第3学年の必修9教科の評定の合計)
+ (必修9教科において第2及び第3学年の評定の合計値が高い2教科の合計)

観点①を
反映

(イ) 総合所見及び諸活動の記録の活用方法

次の項目に該当する実績を持つ記載のある場合、以下の表のとおりそれぞれ点数化し、各項目ごとの点数を合計した点数(上限を20点とする)を β 値 (20点満点) とする。

ただし、各項目に対し、複数の実績が該当する記載があった場合、上位の得点のものを各項目1つのみ点数化する。また、記載においては主催団体名、大会名や活動成果、活動学年など具体的で実質的な内容を要する。

<総合所見及び諸活動の記録の評価項目>

項目	内容	点数
生徒会活動(役職)	生徒会本部役員	4
	生徒会組織の委員会委員長・実行委員長(注1)	2
部活動参加状況	部長・チームキャプテン	2
	部活動に3年間参加	1
部活動等の成果	地区・県の予選を経て全国大会、関東大会に出場またはそれに準ずる成果	8
	県大会を超える大会に出場またはそれに準ずる成果	4
	県大会出場またはそれに準ずる成果	2

観点③を
反映

後期選抜

(金沢総合高等学校/総合学科)

校外活動 (注4)	文化・スポーツなどの校外活動への参加状況(注2)	部長・チームキャプテン	2
		活動に3年間参加	1
	文化・スポーツなどの校外活動の成果(注3)	地区・県の予選を経て全国大会、関東大会に出場またはそれに準ずる成果	8
		県大会を超える大会に出場またはそれに準ずる成果	4
		県大会出場またはそれに準ずる成果	2
ボランティア活動	意欲的で長期にわたる継続的な活動	1	
特記事項		記述あり	2
資格・検定		下記の資格・検定(注5)	2

(注1) 選挙管理委員長を除く

(注2) 校外活動(文化・スポーツの参加状況)は部活動参加状況と同一種類の場合は点数化しない。

(注3) 校外活動(文化・スポーツの成果)は部活動参加状況と同一種類の場合は点数化しない。

(注4) 校外活動は、文化・スポーツ活動の参加状況、文化・スポーツ活動の成果、ボランティア活動のうち上位の得点のものを点数化する。

(注5) 該当する資格・検定

実用英語技能検定3級以上(日本英語検定協会)

日本漢字能力検定3級以上(日本漢字能力検定協会)

実用数学技能検定3級以上(日本数学検定協会)

毛筆・硬筆書写技能検定3級以上(日本書写技能検定協会)

歴史能力検定3級以上(歴史能力検定協会)

理科学検定3級以上(日本理科学検定協会)

日商PC検定(文書作成)3級以上(日本商工会議所)

珠算検定2級以上(全国珠算教育連盟)

剣道・柔道・空手道・弓道・合気道 初段以上

(ウ) 調査書の記載事項に対する各項目の合計点数

上記の(ア)と(イ)の合計点をT値とする。

$$T \text{ (130点満点)} = \alpha + \beta$$

観点②を反映

イ 学力検査の結果の扱いについて

$$G \text{ (350点満点)} = (5 \text{ 教科の得点の合計}) + (上位2 \text{ 教科の得点の合計})$$

(3) 具体的な選考の方法

次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。

$$S \text{ (100点満点)} = \{ \alpha \text{ (110点満点)} / 110 \} \times 100 \times 0.3 + \{ \beta \text{ (20点満点)} / 20 \} \times 100 \times 0.2 + \{ G \text{ (350点満点)} / 350 \} \times 100 \times 0.5$$

<凡例>

○調査書の記載事項に対する各項目の合計点数：T値

・学習の記録：α値

・総合所見及び諸活動の記録：β値

○学力検査の結果：G値

○各項目の合計点：S値